

一年を振り返って

「顔は覚えて頂けたでしょうか？」

齋藤前主事からのバトンを受け、4月から北九州宣教支援センターの主事の働きを担ってもうすぐ一年になろうとしています。顔を知ってもらったりお近づきになったりするために、教会への訪問や連絡、集会への参加、委員会への陪席、などなるべく多くの集まりに参加させて頂きましたが、顔は覚えて頂けたでしょうか？しかし、わたし自身が直方教会の牧師でもあるために、日曜日にみなさんの教会に伺うことがほとんど出来ないため、まだお会い出来ていない方も多くおられるかと思えます。どうぞ、連合の行事にご参加下さい。そこにはきっと私もおります。顔をみかけたらお声かけ下さい。

「下関教会への伴走」

毎月第三週の日曜日の朝は、7時頃に直方教会の礼拝の整えをします。受付を整え、冷暖房の調整をし、YouTubeでの礼拝ライブの設定をします。そして8時過ぎに伴走教会へと車を向かわせませす。下関教会に着いたら、直方教会のYouTubeの動画リンクを直方教会のグループLINEに張り、そこからは下関教会の伴走に集中。下関教会では共に礼拝に与り、信徒会や執事会に陪席し、許可を得て質問や意見をさせて頂きます。伴走のテーマ「幼稚園伝道」についての発題などもさせて頂きました。この一年で「伴走」の意味を考えさせられました。目指す方向性を持ちつつも、寄り添いながら歩き、また走りました。大切にしたのは押しつけるのではなく、一つ一つの思いを受け止めること。そのためにはわたし自身が対話の力を信じているかどうかが問われました。そして、信じて良かったと思っています。きっと下関教会の2024年度はこれまで以上に幼稚園に伴走し、これまで以上に幼稚園から信頼される歩みとなると確信しています。そして、2024年度以降も、伴走された教会が伴走する側になる、そんな伴走を心がけていきたいと思っています。

「主事の携帯番号は080-9877-2715です」

主事の携帯には連絡・お尋ね・相談・面談の希望など、様々な連絡が入ります。連合の牧師からも信徒の方からもあります。表には出せないものもある働きです。でも、これも主事の大切な働きだと思っています。そして、連合の皆さんにも思って頂きたいと願います。ですから、どうぞ、皆さんの携帯に登録してください。そして、お気軽にご連絡下さい。また、シオン山教会の教育館の3階に宣教支援センターの事務局として一室をお借りしており、基本火曜日・金曜日におりますのでお気軽にお訪ねください。(他の教会や委員会参加のためにいない時もありますのでご連絡のうえおいでください)。

「つなぐ働きを心がけ2年目へ」

主事体制で宣教支援センターは始まり、その体制のまま主事を引き継ぎましたが、今後は連合全体で宣教支援センターの働きを担うことが次の目標となってきます。そのためにはセンターの働きを各委員会や役員会、各会が協力して担えること、また各教会も互いにつながりを強めることが大切です。その接点となるように各教会や各委員会や各会の様々な声を受け取り、共通した課題を持つ教会をつないだり、委員会・各会を超えて一緒に担ってゆくためにつないだり、そんなことを心がけ、務めてゆきたいと思えます。2024年度もよろしくお願ひします。

【田中伊策（宣教支援センター主事・直方）】

これからの予定

3月31日(日)~4月1日(月)連合青少年少女会春の交流会@別府国際教会

4月29日(月)連合定期総会&バプテスト大会 10時~12時30分@シオン山教会

* 連合総会代議員登録締切は4月22日(月)です。連合HP、右記QRコードからも

代議員登録ができます。



郵便振替 01590-7-3255 加入者名 バプテスト北九州地方連合
通信欄に「宣教支援センター支援献金」と明記してください。

バプテスト 北九州地方連合ニュース

発行日:2024.03.28 | Vol.51 | 発行者:谷本仰

発行所:〒803-0846
北九州市小倉北区下道津 2-15-21
Tel: (093)561-0772
Fax: (093)561-0760
シオン山教会内
北九州地方連合 総務財務委員会



信徒説教者養成講座、好評開催中！

2022年、北九州地方連合で信徒説教者養成講座が始まりました。第1期は2022年9月~2023年3月、大分、臼杵の2教会からそれぞれ4名ずつ計8名、第2期は2023年10月~2024年4月、若松6名、直方2名、芦屋1名の3教会計9名の参加でした。

それぞれ、顔合わせと導入、説教についての学び、実際に短い説教を作って語っていただくワークショップ、振り返りとまとめて計7、8回で修了というカリキュラムです。第1期、第2期とも、主日礼拝後の午後に毎回1時間半程度を目途に予定を組み、オンラインで開講、最終回のみ対面としました。

講座の売りは「対話」。講師からの一方的な講義・授業ではなく、参加者自身のことばと、そこから始まる対話によって学びが深められていきます。谷本がいわゆる「講師」ではなく、みなさんの自由な対話を促進する係の人・ファシリテーターの役割を担っています。参加者の教会の牧師たちにはスタッフとしてご協力いただいています。

すでに、みなさんの中に豊かな人生経験があり、そこで培われた信仰とそれを語ることばがあります。この講座はそれを大切に、それに信頼して進められます。そこから説教を考え実践する上でとても大切なテーマや課題が浮かび上がるのです。

ご参加いただいたみなさんからは「学びがこんなに楽しいなんて!」「他の皆さんにもおすすめしたい!」と好評をいただいています。この講座は、連合諸教会の信徒の皆さんの対話と豊かな交わりの場にもなっています。

信徒説教者養成講座には、無牧師教会の礼拝に牧師が応援に行く際のバックアップの態勢を強化する目的があります。同時に、信徒説教者が育つことで、礼拝はより豊かになり、牧師の休暇、療養、辞任などへの対応もしやすくなります。

「信徒の教会」であるバプテスト教会はその歴史の最初期から、信徒説教を大切にしてきました。それはバプテストの伝統であり、信仰的文化であり、宝物なのです。

2024年度は第3期、第4期の講座開催を計画しています。一教会から2、3名程度、複数教会から全部で6、7人くらいの参加者数であれば、ゆっくり対話をしながら進めることができます。同じ教会の複数講座参加も歓迎します。受講料は無料です。第3期は5月頃の開始を目指します。

参加ご希望の教会がどしどし名乗りをあげてくださるよう、期待し、祈りながらお待ちしております。申込みは宣教支援センターまで。【谷本仰(南小倉)】

*写真は信徒説教者養成講座の対面授業と、受講後に実際に説教を担当された方々です。

PickUP! CONTENTS

- 活動報告「社会の多様性を大切にする働きへの協働を目指して 伝道委員会報告」
- 地域協働「交流支援プログラム報告(富野・小倉・春ヶ丘)(北九州・若松)(南小倉・直方)」
- 主事報告「一年を振り返って」

社会の多様性を大切に作る働きへの協働を目指し

伝道委員会では、連合の諸教会が取り組んでいる活動、特に、社会の多様性を大切に作る働きに協働していこうと考えています。

2023年度は、まず、委員が属する教会が具体的にどのような活動を行っているかを知ろうということで、二つの教会からレポートしていただきました。

どちらも充実した内容のレポートとなっており、ここで全文ご紹介できないのが残念ですが、ぜひ、連合のホームページに掲載されている全文をお読みいただけたらと思います。ここでは、それぞれのレポートの冒頭部分をご紹介します。【石橋誠一（東八幡）】

【小倉キリスト教会からのレポート 大庭博子(小倉)】

小倉教会には、1年間に5-60人の新来者が礼拝に来ます。その中には、外国人もいますが、常にいるわけではなく、流動的であり、様々な理由で去っていったり、また、来会したりの繰り返しです。

5年前に私がホーチミンを訪れた時にVBTJ (Vietnamese Bible to Japan) 代表の大塩英人さんに会い、その働きを知りました。主な活動は、ベトナム語の聖書と三浦綾子さんの著作のベトナム語訳を日本の教会に備えるというものでした。宗派や教派を超え、日本にいるベトナム人にイエス様と出会ってほしいという願いから生まれた活動です。そして、小倉教会でも、無料配布されるのなら、いただこうとベトナム語聖書の備えを決定し、協力教会となりました。(⇒続きはQRコードから)



【南小倉バプテスト教会からのレポート「多様性」を考える 宮崎千恵(南小倉)】

イエスが一緒に生きたのは、社会の最底辺で苦しみながら、なんとかその日を生きのびていた人たちでした。イエスに倣う教会は誰に寄り添って、一緒に歩んでいるのか、歩みたいのか、いつも問われます。常に多様性を受け入れる体制と心構え（だれでもどんなひとでも）と時に応じた柔軟さが求められます。



◇いやおうなく変わってきた南小倉教会：「みんな」救われていると宣言したばかりに教会ができてから50年以上たった2017年、数年かかって教会の在り方の「おおもと」である「信仰宣言」のリニューアルが完成しました。南小倉教会は何を大切にしているか、を表す宣言です。かっちりとした文章の「前文・宣言」と、互いに読み交わすことができる「交読文」の形を作り、毎週礼拝で「交読文」を少しずつ読んでいます。(⇒続きはQRコードから)



三教会合同もちつき大会!!! 富野・小倉・小倉春ヶ丘

お餅つきの準備は、9月から始めました。道具は全てが保存されていなかったので、材料を書き出し、分量とスーパーでの値段調べ、安いところ比べを行い、雑貨はスマホで調べ、それぞれの得意分野で仕事を進めました。そして、全てを合わせて予算を立て、予算内でできることを確認できました。次に当日の担当と責任者を決め、買物、道具の水洗い、室内設定などと動き出しました。前日には春ヶ丘教会と小倉教会の応援もあり、楽しいお餅つきとなりました。

当日は3教会合同で44名の参加者となりました。1月としては暖かく穏やかな日でした。これが雨だと悪条件が重なりお餅の質も落ちます。そう考えると当たり前ではなく与えられた恵みなのだと思います。力を合わせて、つき、こね、食べる。皆がいてこそできることです。互いに気づかい、譲り合い、励まし合います。「どうぞ、ありがとう、うまい、がんばれー!」たくさんの声飛び交いました。準備など苦労もありましたが、私たちに無くてはならぬものをおいしくいただけただけの時でした。



北九州教会と若松教会の交流会

2023年9月17日(日)と10月29日(日)にかねてより実現を願っていた若松教会との交流会を行うことができました。

発端は齊藤弘司前宣教センター主事が提案して下さった企画でしたが、コロナ禍にあって実施時期が先延ばしになっていました。それがこの度、双方の教会に宣教者と証し者と賛美チームを派遣することで実現しました。北九州教会からは7名、若松教会からは5名が派遣されました。

話し合いの過程で、同日に双方の教会で行う案も検討しましたが、相手方を全員で迎え、その恵みに全員で与かりたいとの希望が強く、別々の日に行うことになりました。これまでも交換講壇という形で牧師が双方の教会を来訪するケースはありましたが、今回の交流会は新たな協力伝道の可能性を広げるきっかけになりました。今後も大事にしていければと思っています。

このために北九州地方連合からの貴重な活動支援金が与えられたことに感謝しつつ、ご報告致します。【斎藤信一郎（北九州）】

教会で多様性を考える「いのちのはなし」 ～教会交流プログラムとして

南小倉教会では2月25日(月)午後3時から4時半、お面作家、トランスジェンダー、小学校教諭の高津麦さんを筑豊から迎えて「いのちのはなし」を開催しました。これまで獣医さんなど、いのちを大切に作る働きをしている身近な人たちをお招きしてきたこの企画はコロナの影響で4年ぶりの開催となりました。自分が何者であるのかについて悩み苦しむ中でお面の製作と出会い、思いを投影させながら個性的な作品を生み出してきた経緯、様々な出会いの中で感じてきた不安や悲しみや喜び、共に生きることを大切に作る姿勢などが、一人一人に伝わり、沢山の質問も出て、対話することができました。対面38名(南小倉教会員11名)、オンライン8名、計46名の参加がありました。連合の交流プログラムとして前月のLGBTQ研修会と当企画を共有する直方教会からの参加もあり、出席者みんなが、生きることに大切なお話をもらった豊かな恵みの時となりました。【宮崎千恵(南小倉)】

動画アーカイブはこちら➡



留架くんと出会って 直方・南小倉

「地域と共に歩む教会」という主題を掲げている中で、セクシュアルマイノリティについて学ぼうとしました。でも「よくわからない」「何だか身構えてしまう」となかなか進まない。「この際いろいろ考えるより出会っちゃおう」と、約束の虹ミニストリー代表の寺田留架氏(以下留架くん)にご相談したところ、1/28(日)快くお越しく下さいました。どんな人なんだろうと身構え硬かった雰囲気も、主日礼拝において講演内容とは関係なく聖書から語られたメッセージで溶かされ、柔らかくなっていきました。午後は「セクシュアルマイノリティと教会」という講演を聞きました。「ブックレットと『僕自身』を教材として」と語られた通り、留架くんと出会ったことで「留架くんだったらどうだろう」と考えていけるようになった気がします。先日信徒会で「教会の姿勢を示すため、掲示板にレインボーフラッグを掲げよう」と満場一致で決定!新たな一歩を踏み出しました。【田中恵(直方)】

